

パブリックコメントの結果と市の考え方

【実施期間】 令和5年1月25日(水曜日)～2月24日(金曜日)

【意見の提出状況】 1名4件

NO	受付日	市民等の意見・提案(原文)	市の考え方
1	令和5年2月21日	<p>【①】 恵那市の各地域の住民がその地域の環境を守り、地域のそれぞれの特有の資源を活用して地域の経済力を高め都会に遜色のない生活ができる権利を保証した「地域環境基本条例」(仮称)を制定すべきだと提案します。 ※先進地は、長野県飯田市の例を参考</p> <p>【②】 まず自分の住んでいる地域を見て考えることです。自分の住んでいるところは飯地町ですが、地域エゴでなく地域の持つ特有のポテンシャルを具現化することです。今後は中長期にわたっては化石燃料依存から脱却することは必要不可欠です。自動車にあってはEV化が進み電気の需要は高まるばかりです。さて、飯地町には中小の河川があり、小水力発電の可能性調査で採算性も確認でき実施設計の段階まできている物件があります。 河川は、沢尻川で出力約100キロワット ※具体的な資料は、NPO法人地域再生機構が保持 もう一つは、大沢川で概略設計の段階で約500キロワットの発電が可能という調査結果が出ているものです。 このように宝が眠っています。活用しない手はないと信じます。</p> <p>【③】 飯地町内の遊休の公有地の有効活用で、旧飯地小学校地を中心に市有地と、飯地財産区有地と飯地生産森林組合所有地を活用して、この土地は南面を向いており、日当たりが良いため太陽光発電に適し再生可能エネルギー事業を行い有効活用することが適切であると考えます。 これらの事業の果実は、飯地町の地縁団体等の運営経費に充当することで住民のために活用することが大前提であります。発電と同時に変電所の建設や蓄電装置の高度化を図れば電力供給が安定します。このようにしてエネルギーの地産消体制を整えれば、災害に強い街になり国土強靱化にも寄与します。</p> <p>【④】 飯地町にある旧五明センター跡地の有効活用です。地権者の愛知県共済生活協同組合は、恵那市などの公共団体に限り売却することを正式に決定しています。従って恵那市が要請すれば格安に取得できます。 この土地の活用には、この土地の地形からして考えて地形を変形することなく活用することで、国が有力企業の試験研究施設として活用することにして、環境省もしくは環境関係企業で、環境問題として大気、水、気象、生物の生態系などに関連する、試験研究施設を誘致することが最適だと考えます。 面積は2万8,000坪、現況は山林、人里離れた閑静な土地で環境は抜群。 環境問題は人類が生き延びるに不可欠な課題ですので、これらの実現を大きく期待する次第です。</p>	<p>本計画は、恵那市役所が実施する事務事業に関する地球温暖化対策を計画するものです。ご提案内容は、恵那市全体における地球温暖化対策に関するものであると思われます。市では、令和4年3月に市域全体の取組等を定めた「恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」を策定しました。今後、同計画の施策を実施検討する際に参考とさせていただきます。</p>